

ワークシート【想像してみよう！犬を家庭に迎え入れるために】

【私が考える犬との暮らし】

犬と共に生活をするのはとても楽しいことです。しかし、新しい家族の一員として迎え入れるということは、そのわんちゃんが最期をむかえるまで、一生涯お世話をするということでもあります。飼う前に、「なぜ犬と共に暮らしたいのか」「どんな生活をしたいのか」を考え、「どんなお世話が必要なのか」を、家族全員で話し合ってみましょう。

① **なぜ、犬と共に暮らしたいと考えていますか？ご家族それぞれの考えを書き込んでみましょう。**

例) 子どもに命の大切さを感じてもらいたいから。

② **犬と共に、どんな暮らしがしたいですか？一緒にやってみたいことなどを書き込んでみましょう。**

例) 一緒にキャンプに行ったり旅行に連れていきたい。

③ **自分の家庭には、どんな犬が合っていると思いますか？
または、飼ってみたい犬の種類や大きさは決まっていますか？**

例) 抜け毛が少ない犬／小型犬のチワワを飼いたい

 **こうべ動物共生センター**
Kobe Center for Human-Animal Interaction



④ **今回の講座を受講した後に、家族で改めて「どんな犬を迎え入れたいのか」を話し合ってみましょう。**

その犬種の特性や注意事項を先生に聞いてみよう！



【犬のニーズを考えてみよう】

犬も人間と同じように、たったひとつの「いのち」を生きています。感情や感覚を持ち合わせていて、生理欲求や行動・精神面などで、基本的な欲求（ニーズ）があります。そうしたニーズが「精神的・肉体的に満たされている適切な飼育状況」の指針として、「5 Freedoms（5つの自由）」という考え方が国際的に知られています。

こうべ動物共生センターのウェブサイトにも、「5 Freedoms について」のページがありますので、右のQRコードよりご覧になってみてください。



右の「5つの自由」を参照して、必要なお世話を考えてみましょう。

「飢え・渇き」を満たすために必要なことは？

「不快にさせない」ために必要なことは？

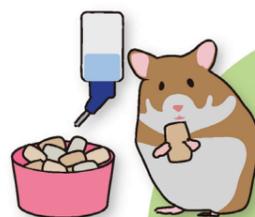
「痛み・負傷・病気」から守ってあげるために必要なことは？

「本来の行動」ができるようにしてあげるために必要なことは？

「恐怖・抑圧」を感じさせないためには？

動物の「5つの自由」 について知りましょう

5つの自由とは、動物が生きていくために必要な要求が満たされて、動物が心地よく、安心して安全に暮らしているかを確認するための指標です。飼い主は、動物であるペットに、この5つの自由を与え、できる限り快適に生活ができるようにする責務があります。



飢え・渇き からの自由

動物にとって食餌はとても大切です。動物の種類や健康状態にあった適切なフードを与え、水は新鮮なものがいつでも飲めるようにしましょう



痛み・負傷・ 病気からの自由

けがや病気の場合には適切な治療を受けさせましょう。日頃から病気の予防を心掛け、健康状態をチェックしましょう

5つの 自由

不快からの自由

清潔で安全で快適な飼育場所を用意して、動物が快適に過ごせるようにしましょう



本来の行動が とれる自由

それぞれの動物が本能や個性に合った動物本来の行動がとれるように工夫しましょう



恐怖・抑圧 からの自由

動物が恐怖や抑圧を受けないように、また、精神的な苦痛や不安の兆候を示さないように的確な対応をとりましょう

